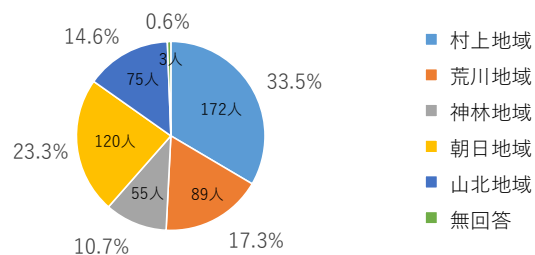


ごみ指定袋シール方式 実証実験アンケート結果 (実証実験参加者)

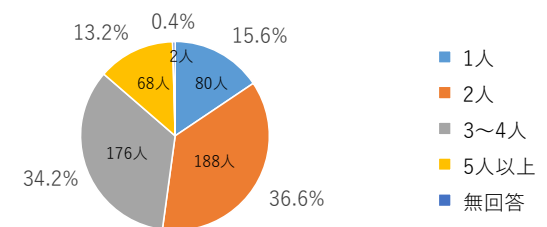
～実施概要～

- 送付数：1,022通
- 実施期間：R8.3.13～R8.4.17
- サンプル数：514通
- 回収率：50.3%

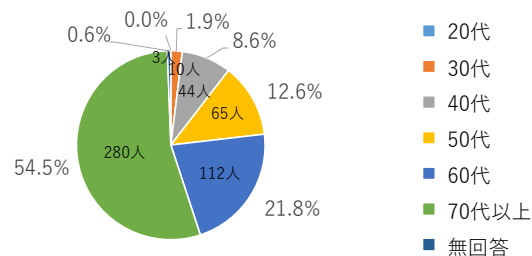
問1.お住まいの地域を教えてください。



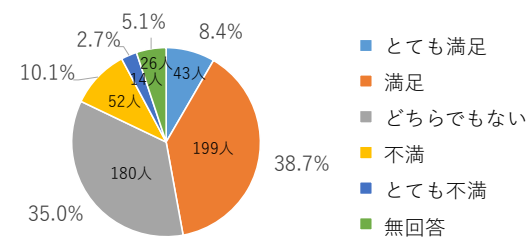
問2.世帯の人数を教えてください。



問3.世帯主の年齢を教えてください。

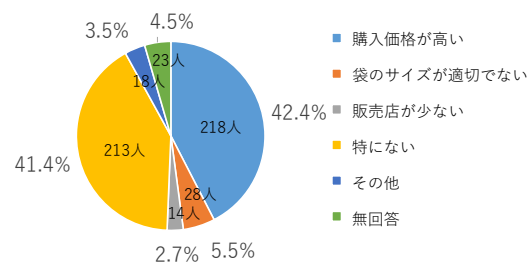


問4.現行のごみ指定袋方式について、どのように感じていますか。



全地域で「とても満足」、「満足」の合計が40%以上となっている。

問5.現行のごみ指定袋方式について、困ったことはありますか。



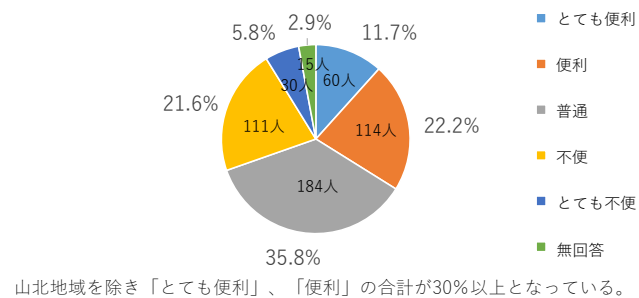
山北地域を除き、「購入価格が高い」が40%以上となっている。

問5.現行のごみ指定袋方式について、困ったことはありますか。

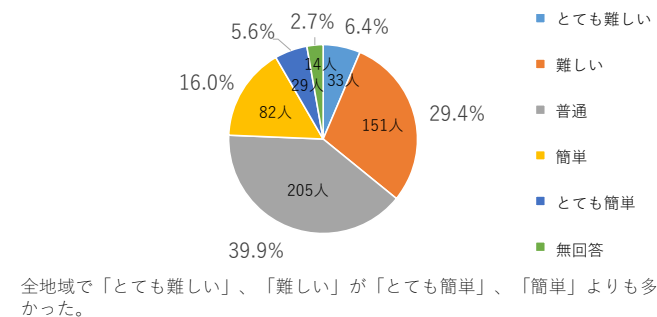
その他（具体的意見抜粋）

- ・袋がやぶれやすい
- ・袋サイズが適切ではない
- ・価格が高い、上げないでほしい
- ・マチがない等の構造・仕様について
- ・販売店が少ない

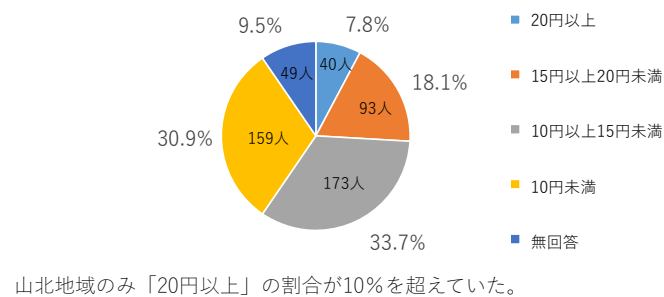
問6.ごみ指定シール方式実証実験に参加して、
どのような感想を持たれましたか。



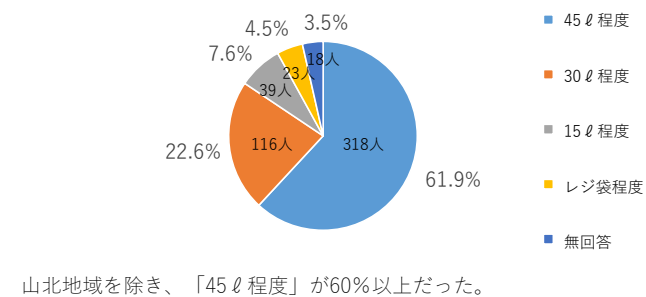
問7.ご自分で用意する袋を選ぶとき、どのように感じましたか。



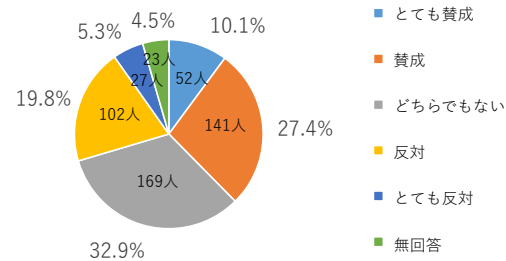
問8.ご自分で用意する袋の価格について、教えてください。
(1枚当たり)



問9.ご自分で用意する袋の大きさを教えてください。



問10.ごみ指定シールの方式の導入について、どう思いますか。



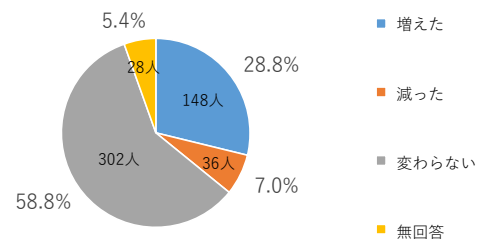
神林地域が「とても賛成」、「賛成」の合計が56.4%と高く、山北地域が28%と低かった。荒川地域のみ「とても反対」、「反対」の合計が「とても賛成」、「賛成」の合計を超えていた。

問10.ごみ指定シールの方式の導入について、どう思いますか。

主な意見抜粋

- ・ 現行の指定袋より安く済む、市販の安価な袋を使える
- ・ 市販の袋は薄くやぶれやすいため、二重にする手間とコストがかかる
- ・ シールの貼り忘れ、剥がれが心配
- ・ 指定袋のように色がついていないため、プライバシーが心配
- ・ 慣れている今の指定袋が丈夫で一番良い
- ・ ゴミの量に合わせて袋のサイズを選べるシール方式は非常に便利
- ・ 状況に応じて両方を使い分けたい

問11.ごみ指定シール方式の場合、ごみを出す際の手間や時間が増えたと感じますか。



荒川地域のみ「増えた」の割合が40%を超えていた。他の地域は10～20%代だった。

問12.「ごみ指定シール」方式導入した場合の市民へのメリットは、どのようにお考えですか。（自由記述）

主な意見抜粋

- ・ 現行の指定袋よりも単価を抑えられる
- ・ ごみの量に応じてサイズを選べる
- ・ 家にある袋を再利用できる
- ・ 部屋ごとにあった袋をそのまま出せるため、入替の手間が省ける
- ・ メリットを感じない
- ・ 手間が増えるだけ

問13.「ごみ指定シール」方式導入した場合の懸念される課題は、
どのようにお考えですか。（自由記述）

主な意見抜粋

- ・ 貼り忘れて回収されず、ごみが放置される
- ・ 市販の安価な袋は薄く破れやすいため、ごみが散らかり、清掃の負担が増える
- ・ 指定袋のように色付きでないため、プライバシーが心配
- ・ 袋とシールを買う二重の手間
- ・ 高齢者の負担